

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和4年度の取組	令和5年度以降の取組・課題
1 デジタル化・ D Xおよび イノベーション の創出	1－1 デジタル化・ D Xの推進	① デジタル化・D X取組に対する理解促進		
		デジタル技術の活用・D X取組事例の情報収集・提供	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始しました。13件の申請があり、3,417,000円の交付決定を行いました。 また、補助金の「新製品・新技術開発支援事業」及び「D X推進事業 導入事業」に申請のあった事業について、H Pで紹介できる仕組みを検討しています。	引き続き、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施します。また、企業訪問等を行い、デジタル化、D Xの取組事例の情報収集に努めるとともに、補助金に申請のあった、デジタル化やD Xの事業を紹介できる仕組みを検討していきます。 なお、デジタル化・D Xへの取組をいかに促進させていくかが課題です。
		デジタル技術活用、D Xに関するセミナー・講演会等の開催	6月14日（火）午後6時30分から役場1階ホールでD X推進セミナーを開催しました。テーマを「中小企業におけるD Xの賢い進め方～D Xの疑問を徹底解説～」とし、講師に独立行政法人情報処理推進機構の五味氏をお招きしました。参加者は23名でした。	引き続き、町内の中小企業者等におけるデジタル化、D Xを促進するためセミナー等を開催します。デジタル化・D Xの取組状況も企業によって様々である中、対象や内容について検討し、効果的なセミナーの開催が課題です。
		② デジタル化・D Xの取組促進【重点】		
		デジタル化・D Xの取組に伴うコンサルティング支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、「D X推進事業 着手事業」としてデジタル化やD Xの取組に伴うコンサルティングに係る経費を補助する事業メニューを設けましたが、申請はありませんでした。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、デジタル化・D Xの取組に伴うコンサルティング支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。 なお、D X等に取り組んでいない事業所に対するデジタル化への対応が課題です。
		生産プロセス、業務プロセスの改善・見直し等に伴うデジタル技術導入支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、「D X推進事業 導入事業」として生産及び業務プロセスの改善・見直し等に伴うデジタル技術導入する経費を補助する事業メニューを設け、1件の申請があり、デジタル技術を活用した生産・業務プロセスの改善支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、デジタル技術導入支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。 なお、D X等に取り組んでいない事業所に対するデジタル化への対応が課題です。
		各種支援制度の情報提供と活用促進	製造業の企業訪問（32社）の際に、各事業所の課題等を伺い、各事業所にあった支援制度や町の施策等の紹介を行いました。 なお、令和4年度から中小企業診断士の資格を有する者を中小企業支援アドバイザーとして雇用しました。	国や都等の支援制度や補助事業の情報収集に努めるとともに、引き続き、製造業の企業訪問を行い、各事業所にあった支援制度等の紹介及び課題の把握に努めます。

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度の取組	令和５年度以降の取組・課題
1 デジタル化・ D Xおよび イノベーション の創出	1－1 デジタル化・ D Xの推進	③ デジタル技術活用による技術承継		
		技術承継のためのデジタル技術の導入支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、「D X推進事業 導入事業」として技術承継のためのデジタル技術の導入経費を補助する事業メニューを設け、1件の申請があり、中小企業者等のデジタル技術を活用した事業承継支援を行いました。【1-1-1②再掲】	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、デジタル技術を活用した事業承継支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。 なお、技術承継におけるデジタル技術の活用をいかに広めていくかが課題です。
		④ デジタル人材の育成		
		従業員等のデジタル技術・知識の修得支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、「人材育成支援事業」として従業員等のデジタル技術・知識の修得に係る経費を補助するメニューを設け、1件の申請があり、従業員のデジタル知識の修得支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、従業員等のデジタル技術・知識の修得を支援するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。
	1－2 イノベーション 創出の促進	① イノベーションの創出に向けたまちづくりの推進【重点】		
		イノベーションの創出に向けたまちづくりの研究・協議	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸について、東京都から事業化に向けた都市計画素案説明会が行われました。併せて、町から仮称No.6駅、No.7駅周辺のまちづくり方針について説明が行われました。No.6駅周辺では、駅前空間の賑わい創出として商業地の集積や、新産業導入・育成拠点の形成として、インキュベーション施設、デジタル研究開発、スマート農業などの拠点形成を目指しています。多摩都市モノレールの延伸と一体となったまちづくりを進めるため、都市計画課や関係機関と情報を共有しました。	引き続き、国や都の動向を注視するとともに、民間企業、大学、地方自治体等のイノベーション創出事業等の情報収集に努め、イノベーション創出に向けたまちづくりの研究に努めます。
		先進取組事例の研究	国や都、民間企業、大学、地方自治体等の先進取組事例の情報収集に努めました。	引き続き、国や都の動向を注視するとともに、民間企業、大学、地方自治体等の先進取組事例の情報収集に努め、イノベーション創出に向けたまちづくりの研究に努めます。

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度の取組	令和５年度以降の取組・課題
1 デジタル化・ DXおよび イノベーション の創出	1－2 イノベーション 創出の促進	② 新製品・新技術の開発支援【重点】		
		新技術・新製品の研究開発に対する支援	瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金を開始し、新製品・新技術開発支援事業として新製品・新技術開発に伴う試作品開発及び試験評価に係る経費を補助する事業メニューを設け、1件の申請があり、新製品・新技術の開発支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金を実施し、新製品・新技術の開発支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようPRに努めます。
		特許、実用新案等の知的財産権の取得に対する支援	瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金を開始し、特許、実用新案等の知的財産権の取得に対する支援として特許、商標等の登録出願等に係る経費の一部を補助する事業メニューを設け、2件の申請があり、産業財産権取得支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金を実施し、産業財産権取得支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようPRに努めます。
		町内企業における新技術・新製品の研究開発事例のPR	該当なし	当該補助金の新製品・新技術開発支援事業及びDX推進事業導入事業に申請した事業を事例紹介として、町HPで紹介できるよう関係各所と調整していきます。
		③ 多様な人材交流		
		業種・分野の枠を超えた交流会の開催	業種・分野の枠を超えた交流会について、方法、課題等を課内で協議するとともに、商工会と意見交換を行いました。	業種・分野の枠を超えた交流会のあり方について、他自治体の成功事例等も参考にしながら、企業や関係機関を交えて協議する必要があります。
		④ 製造業事業者の交流促進		
		企業（製造業）交流会の開催	3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。	製造業の交流会については、引き続き実施していく予定ですが、その内容について見直しを検討していきます。また、新たに町商工会工業部会で他市商工会工業部会との交流が始まっています。自主的な活動が活発になることが期待されています。

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度の取組	令和５年度以降の取組・課題
2 経営基盤の強化 と活力ある工業 基盤の構築	2－1 経営基盤の強化	① 各種補助制度の活用促進と充実		
		中小企業振興資金融資あっせん制度による経営支援	中小企業振興資金融資あっせん制度を実施し、2月末時点で84件の申請があり、実行件数は64件、実行額は42,458万円となっています。	令和5年度についても、引き続き、中小企業振興資金融資あっせん制度を実施し、中小企業者等へ運転資金や設備資金等の支援を行うとともに、金融機関と情報交換を行い、町内事業者の状況把握に努め、利用促進を図ります。
		中小企業振興資金融資あっせん制度による利子補給・保証料補助	中小企業振興資金融資あっせん制度を実施し、利子補給については12月末現在で、4,200件、9,588,476円となっています。また、保証料補助については2月末現在で、65件、4,044,000円となっています。	令和5年度についても、引き続き、中小企業振興資金融資あっせん制度を実施し、中小企業者等へ運転資金や設備資金等の支援を行うとともに、金融機関と情報交換を行い、町内事業者の状況把握に努め、利用促進を図ります。【上記再掲】
		企業が抱えるさまざまな課題に対応した支援策の充実	長期にわたる原油価格や物価の高騰に影響を受けた中小企業者等を対象に、燃料費や光熱費の一部を補助する、中小企業者等原油価格・物価高騰臨時対策補助金事業を実施しました。624件、53,880,000円を補助しました。	企業訪問などで得られた情報を有効に活用し、支援策について引き続き研究していきます。また、あらゆる業種が疲弊し、低所得世帯等への支援を要する状況において、限られた財源の中で社会情勢を注視しながら、優先順位、公平性等を考慮し判断していきます。
		② 企業訪問の充実		
		企業訪問活動の実施	中小企業支援アドバイザー（会計年度任用職員）を中心に製造業の企業訪問を実施しました。令和4年度は新規の事業者も含め、32社を訪問し、企業の課題や町への要望等の話を伺いました。また、ものづくり・D X等推進事業補助金のP Rも行い、13件の申請中6件が企業訪問をきっかけとした申請でした。	引き続き、中小企業支援アドバイザーを中心に積極的に企業訪問を実施し、企業の課題や町への要望等を把握するとともに、ものづくり・D X等推進事業補助金等のP Rに努めます。また、ふるさと納税返礼品の登録、H Pのバナー広告の募集等、町事業を積極的にP Rします。
		③ 経営相談の充実		
		経営等相談事業の実施	商工会の独自事業として、中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士による無料の個別相談会を実施しています。	引き続き、商工会や関係機関と連携を図りながら、経営等の相談事業の充実を図ります。

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度の取組	令和５年度以降の取組・課題
2 経営基盤の強化 と活力ある工業 基盤の構築	2－2 販路の拡大	① 販路開拓・受注拡大の支援		
		異業種・同業種交流の推進	製造業の交流会を3月に予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。 また、異業種交流について、商工会と意見交換を実施しました。	製造業以外の同業種、異業種間の交流会について、商工会や商工会各部会と意見交換をするなど、実施に向けた協議や検討を関係機関と実施する必要があります。
		産業見本市等出展支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、産業見本市等出展支援としてオンラインを含めた見本市出展に係る経費の一部を補助する事業メニューを設け、5件の申請があり、産業見本市等出展支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、産業見本市等出展支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。
		ホームページ、E Cサイト、動画等作成の支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、「販路開拓支援事業」として製品紹介や企業のP R動画作成、ホームページ及びE Cサイト等の新規作成に係る経費を補助する事業メニューを設けましたが、申請はありませんでした。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、ホームページ、E Cサイト、動画等作成の支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。
		② 瑞穂ファントム工場の活用		
		ファントム工場のP R	瑞穂町商工会を中心に、産業見本市に出展する等、ファントム工場のP Rに努めました。令和4年度の問い合わせ件数は11件となっています。	令和5年度についても、引き続き、瑞穂町商工会を中心に産業見本市に積極的に出展するとともに、H Pの充実などP Rに努め、受注機会の拡大に努めます。
	2－3 企業誘致の推進	① 企業誘致の推進【重点】		
		企業誘致促進事業	令和元年度に指定を受けた事業者に対し、2年目（令和3年度課税分）の奨励金を交付しました。 また、企業誘致促進事業に関する問い合わせが数件ありましたが、いずれも誘致には至りませんでした。	令和元年度に指定を受けた事業者に対し、3年目（令和4年度課税分）最終年の奨励金を交付します。 また、引き続き、制度のP Rやシティプロモーション活動を行うとともに、企業立地に関する情報収集に努めます。
		企業立地マッチング（企業立地マッチング促進事業）	事業用地情報提供申請が2件ありましたが、希望する物件情報はありませんでした。なお、情報提供申請があった事業者は2件とも町内の事業者でした。	引き続き、企業立地マッチング促進事業を利用していただけようP Rに努めます。 また、企業立地コーディネーターの登録者の増加を図るため、関係事業者等へのP R活動に努めます。
		② 町の工業力等のP R		
		町の工業力のP R・プロモーション	町の工業力のP Rのため、企業訪問の際、ふるさと納税返礼品に登録を検討していただけるよう返礼品事業の説明をしました。ふるさと納税返礼品登録数は令和5年2月末現在、22事業者55品目となっており、その内工業製品は4事業者24品目となっています。 参考：令和3年度ふるさと納税の実績 263件 12,676,000円 うち約76％が工業製品（金額ベース）	引き続き、ふるさと納税を活用し工業のP Rを行うとともに、町の工業力のP R・プロモーションについて、情報収集を実施し、その手段や方法の調査や研究に努めます。

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度の取組	令和５年度以降の取組・課題
2 経営基盤の強化 と活力ある工業 基盤の構築	2－４ 事業承継の促進	① 事業承継の促進【重点】		
		事業承継セミナーの開催	2月16日（木）午後4時から役場2階会議室で事業承継セミナーを開催しました。講師に東京都補助事業、事業承継促進事業、登録専門家の浅沼氏をお招きしました。参加者は7名でした。	引き続き、町内の中小企業者等の課題の一つである事業承継を相談できる環境を促進するためセミナー等を開催します。なお、参加者が減少してきていることから、さらにPRに努めるとともに、セミナーの内容について継続して検討します。
		② デジタル技術活用による技術承継（再掲）		
		デジタル技術を活用した技術承継の支援	瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金を開始し、「DX推進事業 導入事業」として技術承継のためのデジタル技術の導入経費を補助する事業メニューを設け、1件の申請があり、中小企業者等のデジタル技術を活用した事業承継支援を行いました。【1-1-1②再掲】	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・DX等推進事業補助金を実施し、デジタル技術を活用した事業承継支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようPRに努めます。
	2－５ 起業の促進	① 起業支援の充実		
		起業に関する相談等の実施	起業に関する相談については、商工会や都と東京都中小企業振興公社が連携して設置した多摩地域の創業支援施設のTOKYO創業ステーションTAMAをご案内しました。	起業や創業に関する相談等については、商工会や関係機関と連携を図るとともに、TOKYO創業ステーションTAMAから情報収集する等、相談の支援に努めます。
		起業希望者への支援体制の構築	起業に係る支援体制や手法等の情報収集に努めました。 また、中小企業振興資金融資あっせん制度で開業資金として、新たに事業を開始するために必要な資金等の融資に係る利子補給や保証料の補助を行いました。開業資金の利用件数は6件でした。	引き続き、起業や創業に係る支援体制や手法等について、商工会や関係機関と連携を図りながら、相談体制の構築について検討していきます。 また、中小企業振興資金融資あっせん制度の開業資金を利用していただけようPRに努めます。
		② インキュベーション施設の誘致等		
		インキュベーション施設等の誘致	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸について、東京都から事業化に向けた都市計画素案説明会が行われました。併せて、町から仮称No.6駅、No.7駅周辺のまちづくり方針について説明が行われました。No.6駅周辺では、駅前空間の賑わい創出として商業地の集積や、新産業導入・育成拠点の形成として、インキュベーション施設、デジタル研究開発、スマート農業などの拠点形成を目指しています。多摩都市モノレールの延伸と一体となったまちづくりを進めるため、都市計画課や関係機関と情報を共有しました。	引き続き、国や都の動向を注視するとともに、民間企業、大学、地方自治体等のイノベーション創出事業等の情報収集に努め、イノベーション創出に向けたまちづくりの研究に努めます。

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度取組	令和５年度以降取組・課題
3 未来を担う 人づくり	3－1 人材の確保・ 育成	① 人材育成の取組への支援【重点】		
		従業員の資質向上のための講習 会実施支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、従業員等に対する講習会・研修の開催又は受講に係る経費の一部を補助する事業メニューを設け、1件の申請があり、従業員の資質向上のための講習会実施支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、従業員の資質向上のための講習会実施支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。
		資格取得のための事業に対する 支援	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、従業員等に対する資格取得に係る経費の一部を補助する事業メニューを設け、2件の申請があり、資格取得のための事業に対する支援を行いました。	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、資格取得のための事業に対する支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえるようP Rに努めます。
		② 人材確保支援		
	就職情報の提供、相談会、説明 会等の開催	製造業者の企業訪問の際、従業員の採用と育成に課題を持っている事業所に対して、ハローワークや多摩地域中小企業人材確保支援ネットワーク等、従業員採用支援事業の情報提供を行いました。また、ハローワークとの共催で就職支援セミナー及び就職面接会を実施しました。	引き続き、ハローワークや多摩地域中小企業人材確保支援協議会等から情報収集を行い、企業訪問の際など、人材確保を課題としている事業者に対して、積極的に情報提供に努めます。	
	3－2 多様な担い手 づくり	① 多様な雇用環境の整備		
ワーク・ライフ・バランスや働 き方改革の取組の推進		国や東京都等のリーフレットを配置する等周知啓発に努めました。	引き続き、ワーク・ライフ・バランスや働き方改革の普及・周知に努めるとともに、事業者から相談があった場合は、適時的確に対応し、相談先等の紹介に努めます。	
② 企業見学・体験事業の充実				
企業見学や体験事業の実施		コロナ禍によりイベント等が開催できない等、子どもたちを対象にした企業見学会や体験事業は実施できませんでしたが、町内の中学校の生徒が授業の一環で、町内の製造業の事業所への職場体験を継続して実施しています。 また、職場体験について、商工会から事業所等に積極的に受け入れていただけるよう協力を依頼しています。	職場体験については、企業訪問の際、町内事業所の魅力を子どもたちに伝えるため、積極的に受け入れていただけるようP Rするとともに、企業見学やイベント等での体験事業が実施できるよう、手段や方法を研究していきます。	

基本方針	基本施策	取組の方向性・取組の名称	令和４年度の取組	令和５年度以降の取組・課題
4 工業分野におけるプロモーションの推進	4－1 プロモーションの推進	① 町の工業力の情報発信・P R【重点】		
		ホームページ、E Cサイト、動画等作成の支援（再掲）	瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を開始し、「販路開拓支援事業」として製品紹介や企業のP R動画作成、ホームページ及びE Cサイト等の新規作成に係る経費を補助する事業メニューを設けましたが、申請はありませんでした。【2-2-2②再掲】	令和5年度についても、瑞穂町ものづくり・D X等推進事業補助金を実施し、ホームページ、E Cサイト、動画等作成の支援を実施するとともに、補助金を利用してもらえようP Rに努めます。
		町の工業力のP R・プロモーション（再掲）	町の工業力のP Rのため、企業訪問の際、ふるさと納税返礼品に登録を検討していただけるよう返礼品事業の説明をしました。ふるさと納税返礼品登録数は令和5年2月末現在、22事業者55品目となっており、その内工業製品は4事業者24品目となっています。 参考：令和3年度ふるさと納税の実績 263件 12,676,000円 うち約76％が工業製品（金額ベース）【2-2-3-②再掲】	引き続き、ふるさと納税を活用し工業のP Rを行うとともに、町の工業力のP R・プロモーションについて、情報収集を実施し、その手段や方法の調査や研究に努めます。
		ファントム工場のP R（再掲）	瑞穂町商工会を中心に、産業見本市に出展する等、ファントム工場のP Rに努めました。令和4年度の問い合わせ件数は11件となっています。【2-2-2②再掲】	令和5年度についても、引き続き、瑞穂町商工会を中心に産業見本市に積極的に出展するとともに、H Pの充実などP Rに努め、受注機会の拡大に努めます。
	4－2 みずほブランド等の充実	① みずほブランドにおける工業製品の充実		
		工業製品のみずほブランド認定品の充実	工業製品や金属加工品等について、みずほブランドとして認定できるよう、みずほブランドの募集を行いました。応募はありませんでした。	引き続き、工業製品や金属加工品等をみずほブランドとして認定できるよう募集を行うとともに、みずほブランド自体の知名度を上げるため、周知やP Rに努めます。
		② ふるさと納税返礼品における工業製品の充実		
		工業製品のふるさと納税返礼品の充実	ことあるごとに返礼品の登録をP Rするとともに、企業訪問時には、積極的に登録について依頼しました。 なお、令和4年度に4品目の追加登録がありました。	ふるさと納税への返礼品の登録は町の歳入を増やすだけでなく、企業や製品等のP Rの場にもなり得るので、引き続き、企業訪問時にふるさと納税返礼品として登録してもらえようP Rに努めます。
	4－3 マイスター制度によるプロモーションの展開	① マイスター制度の活用		
		マイスター制度の創設と活用	地域産業を支える優れた技術力を評価するマイスター制度について、制度を実施している他市町村の情報を収集しました。	引き続き、他自治体の制度の情報収集を行い、瑞穂町に合った制度を創設できるよう、また、制度の活用方法等についても研究に努めます。
	4－4 イベント等における工業のP R	① イベント等におけるP Rの充実		
		イベント等での工業製品等のP R	町で実施する各種イベント等について、コロナ禍ではありましたが、少しずつ実施できたものの、工業製品等のP Rをすることはできませんでした。	イベント等での工業製品等のP Rや町の工業への理解促進が図れるよう、引き続き、手段や方法を検討していきます。